



STANDARD
TOKYO

2023年7月20日

各位

会社名 株式会社プロルート丸光
代表者名 代表取締役社長 森本 裕文
(東証スタンダード市場・コード番号: 8256)
問合せ先 管理本部長 佃 真人
(TEL 06-6262-0303)

特別損失の計上及び2023年3月期通期業績予想値と実績との差異に関するお知らせ

当社グループは、2023年3月期決算において、下記のとおり特別損失の計上を行うとともに、2023年2月2日に開示した2023年3月期通期の連結業績予想値と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上の内容

大阪労働局の調査により、雇用調整助成金の申請が不正と判断され、全額（違約金及び延滞金を含む）を返還することといたしました。これに伴い発生する違約金及び延滞金として、助成金返還損 66百万円を計上いたしました。

また、連結子会社株式会社 Sanko Advance について、代表取締役の辞任により当初想定した事業継続が困難となったことから、のれんの減損損失 224 百万円を第4四半期連結会計期間に計上いたしました。ただし、2023年2月2日付「連結子会社の異動を伴う株式譲渡に関するお知らせ」で公表のとおり、株式会社 Sanko Advance の全株式について株式譲渡契約を締結しており、譲渡実行日予定日である2023年8月2日において譲渡が完了した際に、株式売却益 233 百万円を特別利益として計上する予定であります。

2. 2023年3月期通期（2022年3月21日～2023年3月20日）連結業績予想値と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,250	百万円 △680	百万円 △730	百万円 △1,050	円 銭 △30.47
実績 (B)	4,176	△887	△957	△1,367	△39.17
増減額 (B - A)	△74	△207	△227	△317	—
増減率 (%)	△1.7	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	4,289	△678	△747	△961	△32.34

3. 通期連結業績予想値と実績との差異の理由

エネルギー価格の高騰や円安の影響により、電気料金や食品などの物価上昇が相次いでいることから消費者の節約志向が高まっており、第4四半期においても衣料品店の店頭市況の状況は悪く、売上は伸び悩みました。

利益面におきましても、売上の伸び悩みに加え、第4四半期において、福岡店の閉店に伴う在庫処分やビューティ事業におけるヘアケア商品の滞留在庫の評価損を計上したことに加え、上記「1. 特別損失の計上の内容」の特別損失を計上したため、業績予想値と実績に差異が発生する結果となりました。

以 上